

【現場除雪事例：H13 北海道 10】

除雪工夫分類	C3:振動・騒音対策 / A3:除雪範囲の明示
工事種別	河川工事
工事名称	石狩川改修工事の内 東永山築堤外 工事
施工場所	北海道旭川市永山町4丁目・8丁目
工期	平成13年2月27日～平成14年3月25日
使用機材 / 機械	タイヤショベル CAT936E
現場除雪の工夫・留意点等	永山4丁目入り口に住宅があるので、騒音のことで地先住人に説明理解をしてもらいました。永山4丁目は河川敷地が雪捨て場(市役所)と一部搬入路が同一なので雪捨てダンプに注意するタイヤショベルを使用して、道路部分の巾が分かるように見出し杭を立て除雪して搬入路を確保。
	
<p>見出し杭を立て幅を確認</p>	

【現場除雪事例：H13 北海道 69】

除雪工夫分類	A3:除雪範囲の明示 / C3:振動・騒音対策
工事種別	河川工事
工事名称	網走川改修工事の内 活汲河道掘削外工事
施工場所	北海道津別町
工期	平成 13 年 3 月 6 日～平成 14 年 2 月 13 日
使用機材 / 機械	15t級ブルドーザー、3t級ブルドーザーD20A、タイヤショベル、バックホウ0.7m ³ 級
現場除雪の工夫・留意点等	法肩付近からの重機の転落防止の為、法肩に見出し杭を設置し、法肩に必要以上に重機が寄り過ぎない様に幅が目視出来るようにした。低騒音型、排対型の使用



盛土場除雪

【現場除雪事例：H13 北海道 85】

除雪工夫分類	B3:機械（機材）の適切な選定 / C3:振動・騒音対策
工事種別	河川工事
工事名称	石狩川改修工事の内 千歳川下流ファイバー管路埋設工事
施工場所	北海道千歳川 右岸SP1130～4610（3480m）、左岸SP1550～2059、SP0～2170（2679m）
工期	平成13年12月8日～平成14年3月20日
使用機材 / 機械	除雪用スコップ（ジョンパー） / D31P ブルドーザー3t 級、バックホウ0.7m ³ 級、ショベルローダー0.35m ³ 級
現場除雪の工夫・留意点等	<p>資材等の運搬路としての築堤天端及び小段の除雪工事施工箇所の除雪雪を利用した取付道路（天端 小段 施工箇所）の作成細部は人力にて除雪築堤天端及び小段の除雪は3 t級ブルドーザー及び0.35級ショベルローダーにて行います。工事施工箇所は住宅と近接する箇所もある為、振動を考慮して0.7m³ 級バックホウにて行います。</p>



施工箇所除雪状況

【現場除雪事例：H13 北海道 90】

除雪工夫分類	C3:振動・騒音対策 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	河川工事
工事名称	石狩川改修補償工事の内 西長沼揚水機場撤去工事
施工場所	北海道夕張郡長沼町
工期	平成 13 年 12 月 6 日～平成 14 年 3 月 20 日
使用機材 / 機械	湿地ブルドーザ D31P-205t 級湿地ブルドーザ、D60P-2025t 級湿地ブルドーザ、MST15006t 級クローラードンプ、EX2000.7m ³ 級バックホウ
現場除雪の工夫・留意点等	堤内側については、ブルドーザにより、除雪（国道をはさんだ向かいに民家があり、振動があるため、25t 級は使用せず 5t 級ブルドーザ使用）堤外及び築堤は、0.7m ³ バックホウにて、6t 級クローラードンプに積込み、運搬した。5t 級ブルドーザで除雪する場合は、急坂でスリップ横転に注意した。



堤内側 5t 級ブルドーザにて除雪

【現場除雪事例：H13 青森県 16】

除雪工夫分類	A3:除雪範囲の明示 / A2:気象情報確認・活用 / C3:振動・騒音対策 / E:地域住民への配慮
工事種別	河川工事
工事名称	第10の2の1号 青森港海岸（浸食）護岸（改良）工事
施工場所	青森県青森市大字原別地内
工期	平成13年9月29日～平成14年3月25日
使用機材 / 機械	雪ベラ、スノーダンプ / バックホウ 0.45m ³ 、バックホウ 0.75m ³
現場除雪の工夫・留意点等	既設の構造物を壊さないよう、あらかじめ目印をたてる。大雪が予想される場合には、前日に早朝出勤を予告する。付近の住民の迷惑にならないよう、機械での除雪はAM7:00以降にする。なるべく低振動、低騒音の機械を使用する。付近の民家に前もってビラを配る。



既設構造物目印

【現場除雪事例：H13 北海道 172】

除雪工夫分類	E:地域住民への配慮 / D3:樹木等への配慮 / C3:振動・騒音対策 / B3:機械(機材)の適切な選定
工事種別	河川工事
工事名称	知西別川 道単砂防工事
施工場所	北海道目梨郡羅臼町知昭
工期	平成 13 年 12 月 6 日～平成 14 年 3 月 20 日
使用機材 / 機械	バックホウ 0.7m ³ 、バックホウ 0.7m ³ 、タイヤショベル 3t
現場除雪の工夫・留意点等	<p>運搬路の除雪に関しては、河川区域内以外の敷地(民地及び町有地)の地山に乱さない様に注意し、特に除雪中は一般の工事関係者以外の立入を禁止し事故の防止に努める。現場内除雪に関しては、河床などを乱さぬ様に除雪し、除雪した雪はただちに河川区域内から搬出し、所定の位置(河川敷地内)に集積する。運搬路除雪には、バックホウ及びタイヤショベルを用い、現場内除雪にはバックホウを用いる。両機とも、低騒音・排ガス期性仕様を使用する。現場の羅臼地方は、雪の量がたいへん多いため集積する場所(河川敷地内)に納まるように集積の方法を考え、多い雪の量に対処できる様にする。</p>



バックホウで集積箇所に堆積する